

ホンダ プレリユード

最良のクーペ

ホンダ Wayの知恵を反映するクーペ

マイケル・ジョーダン

近年、多くのクーペが市場に登場しました。しかし、私たちは、それらのうちのほとんどが単に見せ掛けのツードア・セダンであることを発見しました、愚鈍な個性を備えた大型車。コンパクトで、軽量で、制御し易いホンダ プレリユードを私たちがほめたたえるのは不思議な事ではありません。これらの長所は、Mr.ホンダ自身の教えを反映します。また、それらは、ホンダ・エンジニアリングの定式および計算をすべて下に置きます。したがって、プレリユードは、ホンダの設計および技術の、だが企業ステートメントではなく個人の表現に適する規模のショーケースです。

プレリユードの大きさは、80年代に成功したプレリユードを思い出させます。また、ぱりぱりのラインは、この自動車尊厳および目的を与えるのを支援します。外部の像を非常によく補足した、ツートンカラーのキャビンがその場所に総括的な単調処理だけを置いて、生産から行ったことは残念です。しかしながら、プレリユードは、引き続き近年ホンダの最良のデザインする努力です。

あなたがその皮膚の下に見る場合、プレリユードはさらにあなたに報います。あたかも摩擦の法則が簡潔に保留されたかのように、あなたが町の近くで運転している間、2.2リットル4気筒のエンジンは容易に回ります。一旦あなたが向こうに5000rpm押せば、このエンジンは重大になります。また、可変バルブ・タイミングの技術は、あなたの命令で7000rpmのある200bhpを置くのを支援します。それはどんな種類のエンジンからのかなりはっと思わせるような実行です。さらに、牽引を改善して、ホンダのATTS(活発なトルク・トランスファー方式)がコーナリングの間に外部の車輪に、より多くのトルクを送り込むので、この力をよく用いることができます。プレリユードSH(ATTSを装備したただ一つのモデル)を運転している場合、あなたは、実際に乾燥した舗道に対する追加の角を曲がる支配力を感じることができます。また、ぬれた舗道上に安定に劇的な改良が同様にあります。その間に、プレリユードの保留は上部で、より低いウィッシュボーン型コントロールアーム正面および後部(速度でこの自動車の無欠な風習について説明するのを支援する配置)を提示します。その保留は、荒い道はといえば車輪旅行が少し不足しています。しかし、私たちは、喜んでこの3,042ポンドの前輪駆動車が滑らかな舗道上の方向を変更する軽妙な方法のために、フラシ天旅行を犠牲にします。

ホンダプレリユードはスポーツ・ロードスターの最近の作物と多くの共通点を持ちます。それは、それが見る方法のその遺産およびその単純化された技術が、エンジニアの代わりにドライバーのために役立つように計画されていることを私たちに

示します。それは速い。また、それは2人のみで実際に意味されます。真実があります。それが幹の上のスポイラーを備えた別のツードア・セダンだけでなくその上の蓋を備えたロードスターであるので、私たちはそのプレリウドクーペを愛します。

ホンダプレリウド SH

基礎price:\$25,950

エンジン:16のバルブDOHC、4気筒

132cu、の中で(2157cc)

パワー SAE net200のbhp@7000rpm

トルク SAE net156ポンド・フィート@5250rpm